

6 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(六枚のうち二)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

一 あとの問一～問七に答えなさい。

問一 次のア～オの読みをそれぞれ平仮名で書きなさい。

ア 大孟鼎    イ 蒙恬    ウ 出師表    エ 大聖武    オ 康熙字典

問二 次のア～オは、書道に関連のある語です。それぞれの説明を簡潔に書きなさい。

ア 兼毫    イ 万葉仮名    ウ 小篆    エ 向勢    オ 節筆

問三 次のア～ウは、書道に関連のある人物の説明です。それぞれ誰について述べたものですか。漢字で書きなさい。

ア 中国最後の文人ともいわれる人物で、西泠印社の初代社長を務めた。石鼓文を基調とした篆書作品が有名である。  
イ 唐第二代の皇帝で、治世は「貞観の治」として名高い。代表作に「晋祠銘」「温泉銘」がある。  
ウ 唐の四大家の一人であり、王羲之の書跡の収集や鑑定に当たった。代表作に「枯樹賦」「雁塔聖教序」がある。

問四 次の図版は、ある木簡の一部です。書かれている文字を、それぞれ常用漢字の字体で書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

問五 次の文章は、「針切」について述べたものです。文章中の [ア] [ウ] に当てはまる語をそれぞれ漢字で書きなさい。

「針切」は、平安時代の歌人・相模の家集「相模集」と源重之の子の家集「重之の子の僧の集」の写本である。装飾加工を施していない [ア] を用いている。もとは二つの家集を合わせた綴葉装の冊子本だったが、現在は [イ] であることから文学資料としての価値も高いとされている。筆者は [ウ] と伝えられている。

6 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(六枚のうち二)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問六 次の図版①・図版②は「針切」の一部です。あとのア～イに答えなさい。

図版 ①

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

図版 ②

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

ア 「重之の子の僧の集」を書き写しているのは図版①・図版②のどちらですか。図版の番号を書きなさい。また、その理由を簡潔に書きなさい。

イ 「針切」の書風の特徴を簡潔に書きなさい。

ウ 次の図版③は、図版①の一部を拡大したものです。全ての文字の読みを平仮名で書きなさい。

図版 ③

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

エ 次の図版④は、図版②の一部を拡大したものです。全ての文字の字源を楷書で書きなさい。

図版 ④

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

オ 図版②の和歌の大意を書きなさい。

問七 次のア・イに答えなさい。

ア 次の文は、北宋の米芾の「海岳名言」の一節です。この文の内容を簡潔に書きなさい。  
学書須得趣。

イ 次の文は、南宋の姜夔の「続書譜」の一節です。この文の内容を簡潔に書きなさい。  
書丹尤以瘦為奇。

6 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

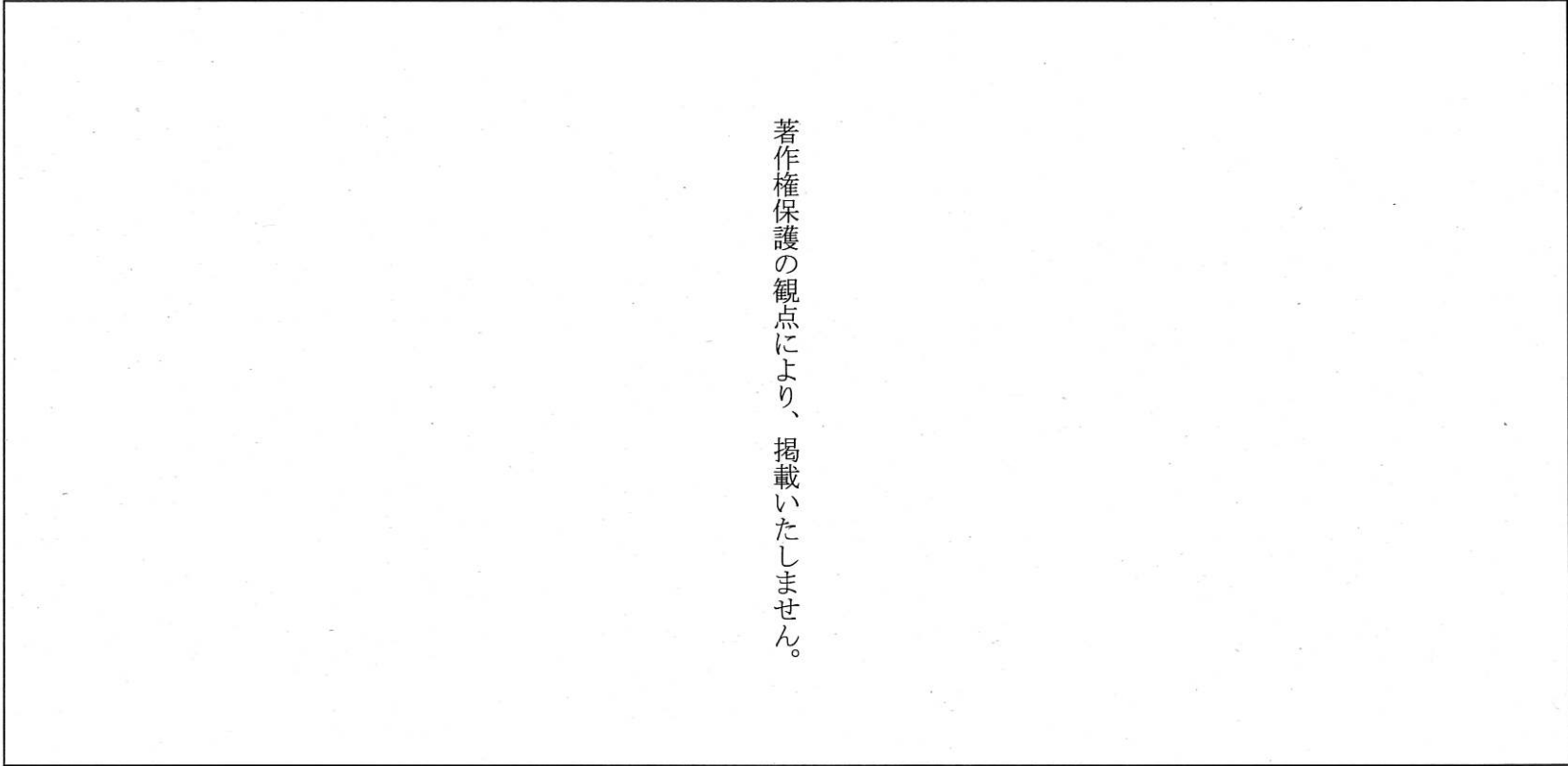
(六枚のうち三)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

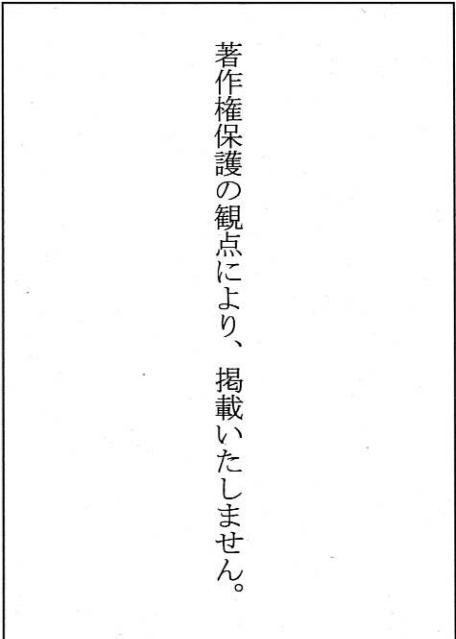
(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

二 「書道 I」の授業において、行書の特徴を理解し、行書の古典の一つである「屏風土代」に基づいた臨書活動を行うこととします。その後、「屏風土代」の表現の特徴を生かした「漢字仮名交じりの書」の創作活動を行うこととします。次の図版①は「屏風土代」の一部、図版②は図版①から抜粋した二文字、図版③は臨書活動において図版②に基づき、生徒が半紙に試書したものです。あとの問一～問五に答えなさい。

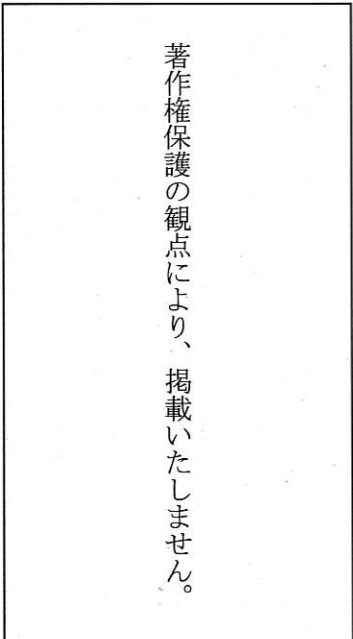
図版 ①



図版 ③



図版 ②



## 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(六枚のうち四)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問一 行書の特徴にはどのようなことがありますか。簡潔に三つ書きなさい。

問二 「屏風土代」について、次のア・イに答えなさい。


ア 「屏風土代」の「土代」とは何ですか。簡潔に書きなさい。

イ 「屏風土代」は大江朝綱の詩を書いたものです。誰が書いたものですか。人名を漢字で書きなさい。

問三 「屏風土代」の書風の特徴は何ですか。運筆、線質、字形の三つの観点についてそれぞれ書きなさい。

問四 図版③について、「屏風土代」の書風の特徴が捉えられている点、改善すべき点はどのようなことですか。それぞれ二つずつ、書きなさい。

問五 「屏風土代」の書風を生かして、「漢字仮名交じりの書」の創作活動を行うこととします。書きたい言葉、表現の意図、表現の工夫、模範例となる草稿を書きなさい。なお、表現の工夫については、「用具・用材、字形、線質、墨色、全体の構成」の五つの観点を踏まえることとします。模範例となる草稿については、次の三点を踏まえることとします。

- ・ 解答欄を半紙大の用紙に見立てて使用し、文字の向きは任意とする。
- ・ 「模範例となる草稿」欄は、文字の大小、線の太細、紙面構成等について、具体的なイメージが生徒に伝わるようにする。
- ・ 落款については、「〇〇書」又は「〇〇かく」とし、落款印の位置を「」で示す。

6 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

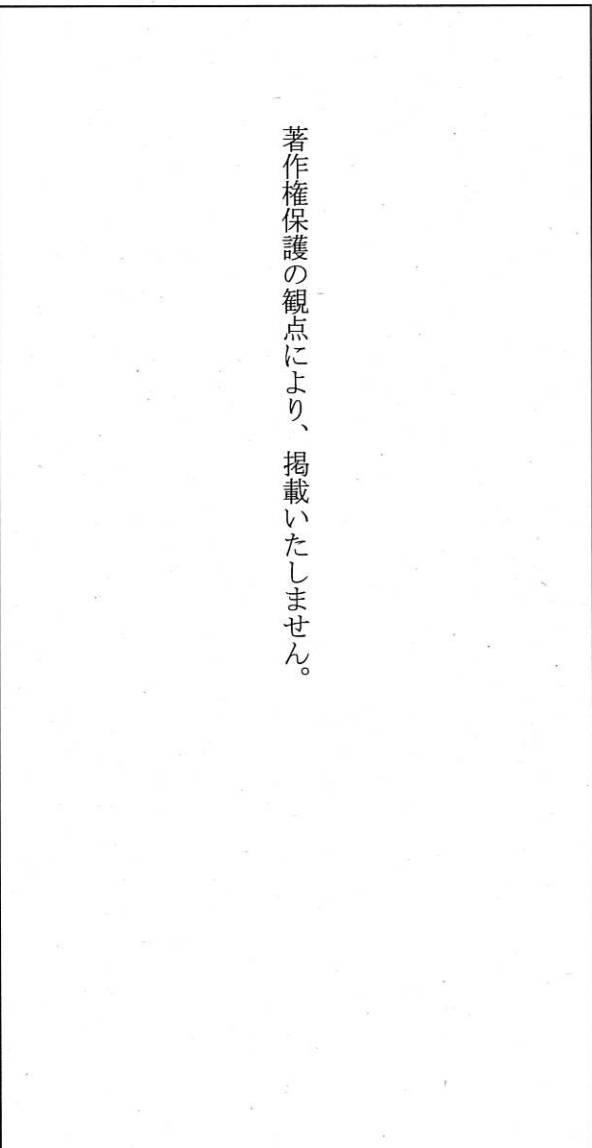
(六枚のうち五)

受験番号	氏名
------	----

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

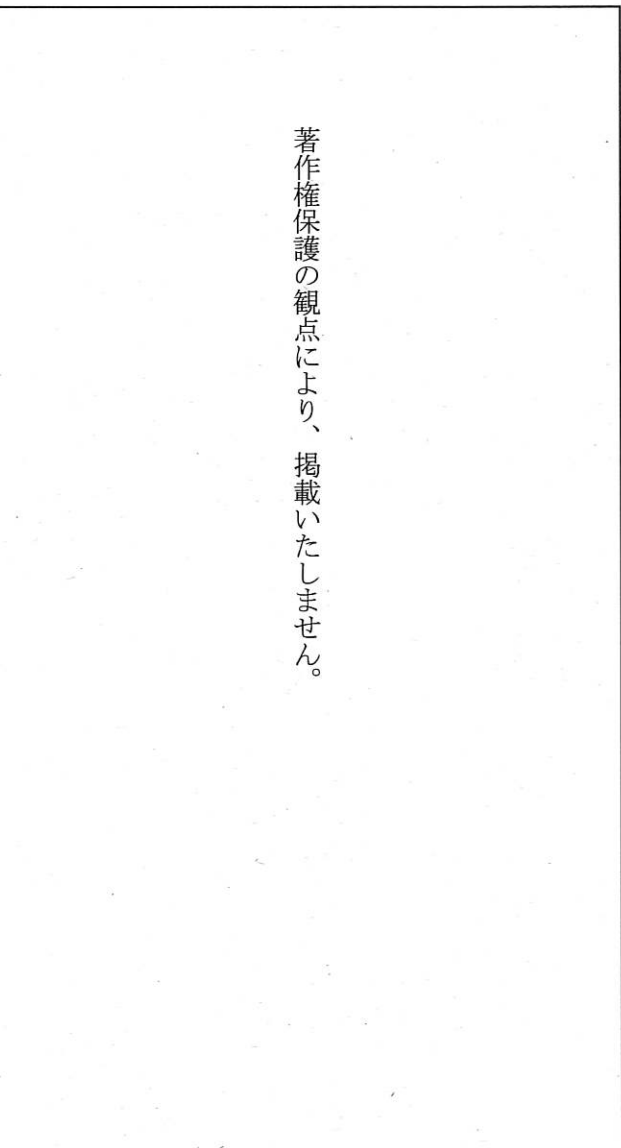
三 次の図版①・図版②について、あとの問一・問二に答えなさい。

図版 ①



著作権保護の観点により、掲載いたしません。

図版 ②



著作権保護の観点により、掲載いたしません。

問一 次のア～ウに答えなさい。

- ア 図版①・図版②は、総称して造像記と呼ばれています。作られた目的は何ですか。簡潔に書きなさい。
- イ 図版①は、誰が誰のために作ったものですか。簡潔に書きなさい。
- ウ 図版②は、何と言いますか。書きなさい。

問二 「書道 I」において、図版①又は図版②を用いて、平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領 芸術 書道 I 内容 A 表現 (2)漢字の書 ア「(ア)古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成」、ウ「(イ)古典の線質、字形や構成を生かした表現」、B 鑑賞 (1)鑑賞 イ「(ア)線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり」を取り扱う授業を四時間で行うこととします。鑑賞、臨書の学習指導において、図版の書跡をもとに、単元計画を設定する場合、どのような評価規準と学習活動を設定しますか。それぞれ具体的に書きなさい。ただし、図版については、図版①・図版②のどちらか一方のみを用いることとします。

## 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(六枚のうち六)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

四 平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領 芸術 書道Ⅰ 目標 には、「書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」と示されています。「書に関する見方・考え方」とは、どのようなことですか。簡潔に書きなさい。



6 高等学校 芸術科 (書道) 解答用紙

(六枚のうち二)

受験番号
氏名

問題番号 解答欄

一									
問七		問六							
イ	ア	オ	エ		ウ		イ	ア	
			著作権保護の観点により、掲載いたしません。		著作権保護の観点により、掲載いたしません。		著作権保護の観点により、掲載いたしません。		図版の番号
			著作権保護の観点により、掲載いたしません。		著作権保護の観点により、掲載いたしません。		著作権保護の観点により、掲載いたしません。		理由





6

高等学校 芸術科 (書道) 解答用紙

(六枚のうち四)

受験番号	
氏名	

問題番号	
二	問五
解答欄	書きたい言葉
表現の意図	表現の工夫
	模範例となる草稿

6

高等学校 芸術科 (書道) 解答用紙

(六枚のうち五)

受験番号	
氏名	

問題番号				問題		
評価規準	問二			問一		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	ウ	イ	ア
	学習活動					
第1時						
第2時						
第3時						
第4時						

6

高等学校 芸術科 (書道) 解答用紙

(六枚のうち六)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号	四
解答欄	